



# いばらき県議会だより

2006年 No.154

発行 茨城県議会 編集 県議会情報委員会 〒310-8555 水戸市笠原町978番6 ☎029(301)5646 (年4回発行)

## 学びこそ輝くあなたの第一歩

生涯学習は、自分の人生をより良いものに、また充実したものにしていくために生涯を通じて行う活動です。  
本県では、県内4ヵ所の生涯学習センターを中心にさまざまな学習の機会を提供しており、今年8月、5ヵ所目となる県北生涯学習センターがオープンします。  
また、今年10月には、第18回全国生涯学習フェスティバルが本県で開催されます。  
これを機会に生涯学習に取り組んでみてはいかがでしょうか。

第18回 全国生涯学習フェスティバル

### まなびピアいばらき 2006


<http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/manabipia>  
開催期間●10月5日～9日

エンジョイ・サタデー



**水戸** 生涯学習センター  
水戸市愛宕町4-1  
TEL.029-228-1313

県民大学(陶芸)



**県南** 生涯学習センター  
土浦市人和町9-1  
【ウララビル】5-6階  
TEL.029-826-1101

県民大学(楽しい水彩画)



**鹿行** 生涯学習センター  
行方市宇前1389  
TEL.0299-73-3877

県民大学(万葉集を読む)



**県西** 生涯学習センター  
筑西市野殿1371  
TEL.0296-24-1151

8月オープン予定

### 県北生涯学習センター

日立市十王町友部2581(旧十王町役場)



## 新春を迎えて



茨城県議会 議長

石川 多聞

新年明けましておめでとございます。皆様には日頃から茨城県議会に対する温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、我が国では少子・高齢化が進むとともに、金融・財政面など多くの分野で抜本的な改革や見直しが進められております。

こうした中で、国の財政分野では三位一体の改革が進められているところであり、本県においても、強力行財政改革を進めながら地域間競争に勝ち残れるよう、的確に施策を推進していかねばなりません。このような時こそ、本県の持つこれまでの産業集積や最新の科学技術、そして立地優位性等の地域特性を最大限に生かし、あわせて我が県人が持ちあわせる「天下の魁(さきがけ)」の精神を高揚し、茨城県が日本をリードしていくという気概を持って県勢発展に取り組んでいきたいと考えております。

私も県議会といたしましては、「茨城から新時代を切り拓く県議会」をモットーに、課題を戦略に、さらに戦略を行動へ移し、その行動を成果に結びつけ、安心して快適に暮らすことのできる住み良い郷土の実現に向けて、三百万県民の負託に応えるために全力で取り組んでまいります。県民の皆様のおかげのご支援、ご協力をお願い申し上げます。清々しい平成十八年の年頭にあたり、皆様のおますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

2-3面(要旨)

# 質問者

川津 隆 (自由民主党)	錦織 孝一 (自由民主党)	田所 嘉徳 (自由民主党)	荻津 和良 (自由民主党)	常井 洋治 (民主清新クラブ)	菊池 敏行 (自由民主党)
-----------------	------------------	------------------	------------------	--------------------	------------------

# 一般質問

## 技能五輪などの本県誘致は

### 県北臨海地域での開催を目指す

議員(自民) 本県の財政状況は厳しく、徹底した行政改革に取り組むべきである。新たな行財政改革大綱により、どのような改革を進めていくか、知事、県民の視点に立った、質の高い県民サービスを目指し改革を進め

議員(自民) 本県の財政状況は厳しく、徹底した行政改革に取り組むべきである。新たな行財政改革大綱により、どのような改革を進めていくか、知事、県民の視点に立った、質の高い県民サービスを目指し改革を進め



第43回技能五輪全国大会表彰式(旋盤職種)の様子

# 一般質問 技能五輪の誘致など質す

平成十七年第四回定例会は、十二月二日から十六日までの十五日間の会期で開かれました。

この定例会には、知事から、一般会計補正予算や指定管理者の指定についてなど、また、議員からは、茨城県議会の議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例などの議案が提出されました。

一般質問では、技能五輪などの本県誘致、県立中央病院のCT付きPET診療、合併新法下での合併支援、児童生徒の安全対策、鹿島港外港公共埠頭の整備、県有知的財産の取得推進などについて質問がありました。(二、三面に掲載)

常任委員会では、付託議案及び指定管理者への指導、神栖市ヒ素問題の責任、指定管理者によるあすなろの郷の改善、指定管理者の選定基準、行財政改革に対する土木部の姿勢、通学路の安全対策などについて議論が行われました。(四、五面に掲載)

予算決算特別委員会では、現行の長期総合計画の評価などについて質疑が行われ、「平成十六年度県公営企業会計決算」と「同一一般会計及び特別会計歳入歳出決算」の認定にか

かる審査結果がとりまとめられ、最終日の本

## 常任委 指定管理者について議論

会議で委員長から報告されました。(六面に掲載)

県出資団体等調査特別委員会では、精査団体等にかかる審議経過の中間まとめが行われ、最終日の本会議で委員長から報告されました。また、百里飛行場活用調査特別委員会では、百里飛行場の役割のあり方や百里飛行場を生かした地域振興方策のあり方などについて議論が行われました。(八面に掲載)

今回の定例会では、予算、条例、人事、意見書、請願など七十六の議案が可決、同意、認定、承認、採択されました。

革を図る県庁改革、市町村への権限移譲を図る分権改革等に取り組む、効率的な行財政運営に努める。

議員(民清ク) 平成十七年四月からの県立中央病院の産科休止に対する認識とその責任、診療再開見通しは、保健福祉部長、産科の休止により、地域の皆様に多



PET(陽電子放射断層撮影)装置による診断の様子

## 県立中央病院のCT付きPET診療は

### 三月下旬に稼働開始

大なご迷惑をおかけし大変申し訳なく思っている。産科が再開できる見通しは立っていないが、必要な医師を確保し産科診療が再開できるように関係機関に働きかけ、広く医師を募集するなども質問)

ど最大の努力をしたい。県内の他の病院でも同じような状況にあるところが多分出てきているので、医療圏ごとの周産期医療のあり方を検討したい。

## 県議会を傍聴しませんか

本会議は、特別の場合を除き、誰でも傍聴できます。傍聴を希望される方は、県議会議事堂の傍聴受付で傍聴券を受け取って入場してください。(傍聴席は三〇〇席で先着順です。)

県民のみならず、選んだ代表者が、どのようにしているのかをご覧いただけます。

また、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する日の一週間前まで

に、議会事務局へ申し込んでください。さらに、インターネットで、本会議の生中継及び録画中継も行っておりますのでご覧ください。なお、手話通訳の申し込み方法や本会議等の日程、委員会の傍聴の仕方など、詳細については、たい方は、議会事務局議事課にお尋ねください。

お問い合わせ先  
電話〇二九 三〇一 五六三四

新法下での合併支援は

県独自の支援策を検討



桜の郷なみ台コモンガーデン

議員(自民) 合併新法下での第一号となるのである

議員(自民) 合併新法下での第一号となるのである

え、今後どのような支援を行うか市町村合併推進審議会の意見を踏まえながら検討する。議員「桜の郷」をより魅力あるまちとするため、高齢社会に対応できることも、子どもにとっても住みやすい三世代がずっと住み続けられるまちづくりが大切。今後のまちづくりをどう進めていくのか。保健福祉部長 健康スポーツ機能や生きがいづくり機能等を有する施設の誘致に加え、コモンガーデンや散策路等の整備を推進する。また、コミュニティセンターの利用促進を図る。(ほかに、障害者に対する就労支援の強化、病診連携による地域医療の充実なども質問)

児童生徒の安全対策は

不審者情報をホームページから提供



議員(自民) 各種の政策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する

議員(自民) 各種の政策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論する

策を打ち出すに当たっては、議決の段階で議論するのではなく、修正可能な政策の段階で協議等を行い、議会と協調して県政を推進することが重要と考え

大切であり、県議会とより密接な協調関係を築きながら、全力で県政運営に取り組んでいく。議員 児童が下校途中で誘拐され殺害されるという悲惨な事件が連続して発生しているが、児童生徒の登下校時の安全確保策は。教育長 各市町村や学校が行っている通学路の安全確保の取組事例を取りまとめるとともに、市町村教育委員会が把握した不審者情報のすべてを県教育委員会が収集し、各学校はもちろんだら、県民にもホームページから提供していきたい。(ほかに、農業産出額全国第二位奪還に向けた戦略、電子申請・届出システムの利活用の促進なども質問)

鹿島港外港公共埠頭の整備は

整備促進を国に要望

議員(自民) 商業港としての役割をも増しつつある鹿島港が首都圏における物流拠点としての機能を果たすには外港公共埠頭の整備が必要である。整備についての基本的な考え方は。土木部長 大型船舶への対応等の面から大変重要であり、整備の必要性を十分認識して国へ整備促進を要望している。現在、港内の静穏度確保のための防波堤整備を優先しており、また、開口部の締め切りが早期に行えるよう、国と協議・調整を進めている。議員 廃棄物の不法投棄



鹿島港

Gメン」を設置し、投棄行為の即時停止措置や徹底的な調査、違反者の公表を行うことを検討できないか。生活環境部長 今年度、併任警察官を集中配置し、県職員とともに立入検査等ができる体制を整えた。今後、より徹底かつ迅速な調査を行うつて法に基づく命令を出すとともに、その対象者を公表する仕組みも検討していきたい。(ほかに、カシマサッカースタジアム周辺の地域構想、教育問題なども質問)

県有知的財産の取得推進は

組織のあり方を含め検討



県の特許を活用した商品例(味をマイルドにする特徴を持つ乳酸菌)

ズに合った特許を取得し、低額での利用に取り組むべきであり、そのための組織として「みらい研究開発機構」又は「いばらき発明機構」を設置してはどうか。企画部長 現在、県立試験研究機関の機能強化の検討を行っており、研究開発のあり方とともに、知的財産権の取得とその有効活用についても、提案の組織体制を含め検討していく。議員 茨城の先人たちの成し遂げた偉業を知ること、子どもたちが大志を抱き、輝かしい茨城をつくる人間力を身につけることができるかと考える。本県の先人たちの資料をそろえた先人館を整備すべきと考えはどうか。教育長 県立歴史館の常設展示施設を将来改装する際に、先人の展示スペースを設けられないか検討するとともに、当面、特別展示等による展示を検討する。(ほかに、国民保護計画、桜山の環境整備、藤井・岩根・成沢地区農業集落排水事業なども質問)

暮らしのワンポイント

子どもの安全のために

お子さんを犯罪から守るためには、日々の生活の中で防犯への取り組みが必要です。家族で守る「我が家のルール」にしてください。一人で遊ばない

お子さんが犯罪に巻き込まれるケースで一番多いのは一人で行くときです。できる限り一人で遊ばないよう教えてあげてください。

外出時には、必ず「行き先」を言う



外出時には、必ず「行き先」を言う。誰と、どこで、何をするか、何時ごろ帰ってくるかを言うようにさせてください。何も言わないで外出しようとするときは、必ず行き先を聞いてください。

何かあったら必ず言う

危険な目にあったら、必ず「今日こんなことがあった」と家の人に話すように、お子さんとの日ごとのコミュニケーションを大切にしてください。

何かあったら大声で助けを呼ぶ

万一、危険な目にあっても、恐怖心で声が出せない、助けを呼べないといったことも考えられます。日頃から「助けて」と大声を出す訓練をしてください。



何かあったら「助けて」と大声を出す訓練をしてください。

# 常任委員会の審議から

## 総務企画委員会



牛久市のコミュニティバス「かっぱ号」

指定管理者への指導は

### 県民サービス向上の観点で

問 公の施設は、経済性のみを追求して運営されてはならない。指定管理者に対し、どのように指導していくのか。

答 県と指定管理者との間で協定を結び、公平・公正な利用が図れるようにしていく。また、当初の運営計画を逸脱することのないよう、

指定管理後も県の役割が求められる  
県立施設(大洗マリタワー)

## 環境商工委員会



神栖市ヒ素問題の責任は

### 国の基本的責任を厳しく対応

問 指定管理者は、どのような基準で選定したのか。分かりやすい判断で選定し

てほしい。  
答 適切な維持管理、施設の効用の最大限の發揮、経

う組織・体制でやるかではなく、地域振興のために何をすべきかを議論していかなければならないと考える。

問 新しい県総合計画の間とりまとめがなされたが抽象的ではないか。具体的な目標がなければ行動に結びつかない。所見を伺う。

答 目標に応じて具体的に何を実施するかについては、重点戦略として絞り込み、項目を掲げる。県民の方々からの意見をも踏まえ、最終答申に向けてさらに具体的な内容について調査審議を深めていく。

問 生活の足としてのコミュニティバスやデマンドタクシーを運行している市町村への支援について伺う。

答 公共交通を維持するためには、行政がこれまで以上に役割を果たすべきと考える。交通弱者対策としてだけでなく、環境問題等の観点をも含め、幅広く議論していく。

(ほかに、第四次行財政改革大綱の中間とりまとめ、まちづくり特例市、TXの利用者増加策なども質問)

費の節減などの項目を設け、選定委員会において審査した。価格だけでなく、総合的に判断した。

問 指定管理者の指定後も、県立施設としての機能をしっかりと果たしていくことが必要。大洗マリタワーなどは、賑わい確保のためにも、周辺土地利用を含め、県の役割が必要であると考えがどうか。

答 後背地の問題など、関係機関とも連携しながら、全庁的に機能の向上に取り組んで行く必要があると考えている。

問 神栖市におけるヒ素問題は何か解決していない。水質浄化、地下水モニタリング、健康問題、不法投棄対策について、国、県、市が責任を分担して取り組む必要があるのでは。

答 問題が大きいため、閣議了解により、基本的には

## 保健福祉委員会



知的障害児(者)及び重症心身障害児の総合援護施設である県立あすなろの郷(新棟)

指定管理者によるあすなろの郷の改善は

### 五年で超過負担を解消

問 企業局所管の阿見東部工業団地への企業誘致における民間人の活用は。また誘致対象企業は東京中心のようだが、三重県、愛知県、静岡県など他の地域も対象としてはどうか。

答 不動産業や建設業の経験者の活用や、仲介手数料制度も導入した。既立地企業の一部は関西に工場がある一方、東にも立地しており、今後東京本部と相談しつつ、関西や中部を対象に一千社程度のアンケートを行う

国が引き受け、対策が進められているが、国に曖昧な態度がみられることから、国に厳しく対応していく。

問 高齢者雇用安定法が改正され、四月から継続雇用の確保が義務付けられるが、取り組み状況は。経済団体、国、県、関係機関等による推進委員会を設け、セミナーや相談を実施している。実態調査では、「導入済」、「検討中」、「今後検討したい」がそれぞれ三分の一であり、広報活動に努めている。

## 意見書

(要旨)

森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める意見書

1 「森林・林業基本計画」に基づく森林の整備・保全及び治山対策を推進し、併せて「緑の雇用」事業による人材の育成及び確保を支援すること。

2 借換え融資制度の創設など、森林・林業・木材産業の再生に向けた施策を展開し、更には林業公社への支援措置を強化すること。

3 違法伐採を防止するため、原産地等表示木材を普及推進し、消費者へ情報提供すること。またWTO林産物関税の堅持により違法伐採木材の輸入阻止を図ること。

4 環境税の創設により安定的な財源を確保し、森林吸収源対策、木材利用の推進を位置づけること。

地域医療を守るための医師確保に関する意見書  
本県は、人口十万人当たりの医師数は全国最下位のレベルであり、医師の確保は喫緊の課題である。国は、次の事項について特段の措置を講じるよう強く要望する。

1 医科大学入学定員の削減方針を撤回し、入学定員の増員を図るなど、必要な措置を講ずること。特に、筑波大学及び自治医科大学の入学定員を増員すること。

2 小児科・産婦人科医師の負担を軽減し継続的な勤務ができるよう診療報酬上の配慮や不足地域へ全国から医師を派遣するシステムの構築など、医師確保のための抜本的な対策を早急に講ずること。

「少人数学級」の推進によりきめ細かなゆきといた教育の実現を求める意見書  
学校教育では、児童生徒一人ひとりの可能性を余すことなく発揮できるように、個に応じたきめ細かな指導を推進することが不可欠であり、少人数学級により一層の推進を図る必要があるとともに、教職員配置の仕組みの改善が喫緊の課題である。

よって、政府においては、新たな教職員定数改善計画を策定し、少人数学級の一層の推進を図るとともに、学校や市町村教育委員会が主体的に教職員配置を行える仕組みに改善するよう強く要望する。

軽油引取税に係る暫定税率の一時的な引き下げを求める意見書  
軽油引取税の税率は、平成五年度以降、一キロリットル当たり三万二千円程度の暫定税率である。しかしながら、軽油価格は、近年の原油価格の高騰に伴い、平成十四年七月を底値として値上がりが始まり、平成十四年一月の当県内平均一リットル当たり六十一円五十銭が平成十七年十月には八十五円五十銭と高騰し、運送業界はまさに経営破綻の危機に瀕している。よって、国においては、軽油価格が平成十四年七月当時の額に引き下がるまでの間、税率を平成四年度以前の一キロリットル当たり二万四千三百円とするよう強く要望する。



岡田厚生労働大臣政務官に意見書を提出する石川議長(左から2人目)

### 農林水産委員会



指定管理者制度が導入される公の施設(県植物園)

### 指定管理者の選定基準は

### 今後の状況踏まえ検討

**問** 指定管理者制度のねらいは。また、指定管理者は期間内でも変更できるのか。

**答** 施設を効果的・効率的に管理運営するため、民間の能力を活用し、利用者へのサービス向上と財政負担の節減を目的としている。また、地方自治法第二四四

**問** 条の第二一項で、管理を継続させることが適当でないとして認められる場合、県は指定の取り消しや業務の停止を命ずることができるとの件は議決後の協定書にも盛り込まれる。

**問** 指定管理者の選定基準にこれまでの実績等が反映されていない。公平・公正

・平等の考え方が違っているのではないかと。民間事業者を含む多様なサービス提供主体の中から最適な団体を選ぶこととしており、長年運営してきたところでも替わることはやむを得ないと考える。

**問** 指定管理者の選定にあたっては機械的ではなく、地元の意欲、地域性も考慮してはどうか。

**答** 今回、指定期間を三年としており、今後の管理運営の状況も踏まえ、次回、見直しも検討する。

**問** 第三回定例会で、鳥インフルエンザは十一月に終息に向かうと答弁があったが、現状からすると長期化するのではないか。

**答** 殺処分をせず現在監視しているウインドレス鶏舎についてはおとり鶏を入れ一カ月間に二回の検査を行うが、その結果の大半が一月以降に出る。現時点で明確な終息時期については言えない。

(ほかに、高品質米生産モデルほ場の成果、いばらきフードウェイブの状況と今後の取り組みなども質問)

### 文教治安委員会



防犯ボランティアによる通学路の立哨

### 通学路の安全対策は

### 地域の監視の目も強化し対応

**問** 下校途中の小学生が殺害される事件が相次ぎ、下校時間帯に犯罪が集中しているように思うが対策は。

**答** 警察としては、下校時間帯のパトロールを強化しているほか、自警団などの民間ボランティアの方々にも、巡回時間を下校時間帯にシフトするなどの協力を依頼し、地域の監視の目を強めている。

**問** 通学路の安全確保のため、街路灯など、改めて安全性をチェックし、対策を

**答** より道路に愛着を持つってもらうことは、道路を大切にすることに繋がると考え、良い提案であり、取り組んでいきたい。

**問** 予算も削減されている状況であり、出先機関の見直しについても短期的に取り組むべきものもあると考えるが、行財政改革に対する土木部の姿勢を伺う。

**答** 土木部として、どうスリム化、効率化できるか検討している。職員の意識を高めながら、組織のあり方を含め行財政改革に寄与できるように取り組んでいく。

(ほかに、土木部としての道路整備の方針、新四号国道の四車線化の状況及び国への働きかけなども質問)

### 土木委員会



筑波山がよく見えるお気に入りの場所とみちを募集した「筑波山ベストビューコンテスト」

### 行財政改革に対する土木部の姿勢は

### 職員意識を高め取り組み

**問** 茨城県建築住宅センターの出えん団体に、建築確認を受ける側である住宅建

**答** 築メーカーの団体が含まれているのは問題ではないか。

**答** 同センターに対しては、検査業務の実施状況について早急に立入検査を行う予定である。また、国が指定確認検査機関のあり方などを検討しており、その動向も踏まえて対応する。

**問** 筑波山ベストビューコンテストのベストビューポイント・ルートの選定期間とその活用について伺う。

**答** ホームページ等で一般投票をした結果を踏まえ実行委員会が審査し、四月上旬に選定する予定。選定されたポイント等は観光情報に活用する。また、地域住民やNPOと協働しながら地域振興に役立てていく。

**問** 県が管理する道路に公募や道路里親制度を活用して名称を付けてはどうか。

**答** 関連してイベント等も行えば土木行政のイメージアップにもつながると思うが、そのような取り組みに

### 今定例会で可決された主な議案

- (議員提出) 茨城県議会の議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- (知事提出) 予算関係
  - 平成十七年度茨城県一般会計補正予算
  - 平成十七年度茨城県鹿島臨海工業地帯造成事業特別会計補正予算
  - 平成十七年度茨城県病院事業会計補正予算
- 条例の制定
  - 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
  - 条例の一部改正
    - 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
    - 茨城県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
    - 茨城県消費者保護条例の一部を改正する条例ほか三件
  - その他
    - 指定管理者の指定についてほか五十七件

### 常任委員会に付託された 請願の審査結果

- 総務企画委員会**
  - 平成十八年度私立中学校・高等学校経常費等助成に関する請願 (採)
  - 軽油引取税暫定税率七円八十銭の一時凍結等に関する請願 (採)
  - すべての子どもに、ゆきとどいた教育をすすめる心のかよう学校をつくるための請願 (採)
- 環境商工委員会**
  - パートタイム労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件の整備及び均等待遇を求め意見書提出に関する請願 (採)
  - ILO第175号条約及びILO第111号条約の批准を求める意見書提出に関する請願 (採)
  - 公共工事における賃金等確保法(仮称・公契約法)制定など、建設労働者の適正なる労働条件の確保に関する意見書提出を求める請願 (採)
- 保健福祉委員会**
  - 国立水戸病院の移転に伴う跡地に
- 農林水産委員会**
  - アメリカ産牛肉の輸入解禁に反対する意見書提出を求める請願 (採)
  - WTO・FTA交渉に関する請願 (採)
- 文教治安委員会**
  - ゆきとどいた教育をすすめる、ゆきとどいた安心のある、笑顔あふれる学校をつくるために、三十人学級の早期実現、教育予算の大幅増、父母負担軽減を求める請願 (採)
  - 茨城の障害児教育の充実を求める請願 (採)
  - 土浦養護学校の障害児教育の充実を求める請願 (採)
  - 美浦養護学校の教育条件の充実を求める請願 (採)
  - 「少人数学級」の推進によりきめ細かなゆきとどいた教育の実現を求める請願 (採)

平成十八年

# 各会派の基本方針

(6-7面)

## 自由民主党

自由民主党  
茨城県支部長  
連合会長  
山口 武平

新年明けましておめでとございます。

さて、本県の経済環境は、回復傾向にあるものの依然として厳しい状況にあり、あらゆる施策を講じ、活力ある商工業・農林水産業の再生と雇用の再生に努め、さらには日本の産業をリードする「産業大県づくり」を推進することが本県の重要な政策課題であります。

てまいります。

また、今後ますます進化する少子・高齢社会に向けた福祉・保健・医療の充実を図り、我が党が提唱する「二十一世紀いばらき福祉の郷づくり」を進めてまいります。深刻化する人口減少問題は最重要課題として子育て支援など総合的な少子化対策を進めるとともに、本県の将来を担う青少年の育成、特に人間性にあふれ、豊かな心を育む道徳教育は重要であり、「いばらき教育の日」(いばらき教育月間)における様々な取り組みを通じ、学校・家庭・地域が連携して

地域全体の教育力の向上を図る必要があります。

本県には美しい自然環境があります。資源循環型社会を促進し、地球にやさしい環境保全対策を進め、社会問題化したアスベスト対策や鳥インフルエンザ対策など、県民生活の安全・安心を守る施策に万全を期してまいります。

昨年は平成の大合併として、多くの新市町が誕生しました。地方分権を確立するため、引き続き三位一体の改革、市町村合併を進めるとともに、新市町に対し活力ある地域づくりを支援していくことが重要です。また、県や出資団体の一層の合理化、行財政改革を進め、財政の効率化・健全化を図ります。

本年も皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げます。

## 予算決算特別委員会

予算決算特別委員会は、平成十七年第三回定例会で付託された「平成十六年度茨城県公営企業会計決算の認定」及び「平成十六年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」の審査を行いました。

表監査委員、出納長、関係部局長などの出席を求め、提出された決算書等の説明を聴取するとともに、監査委員の決算審査意見を参考し、予算が議会の議決の趣旨に則り、適正かつ効果的に執行されたか、などの点に留意して行いました。

審査の過程において、論議の対象となった主な事項は、公営企業会計では、給水原価と供給単価との関係からみたら料金値上げの妥当性などです。

一般会計及び特別会計において、総務部及び知事直轄関係では、県税の不納欠損額の縮減、企画部関係では、つくば国際会議場の利用状況、生活環境部関係では、JCO臨界事故を踏ま

えた災害情報の提供方法、保健福祉部関係では、インフルエンザの発生状況と抗ウイルス薬の確保、商工労働部関係では、誘致企業に対する税の優遇措置の実績、農林水産部関係では、地域材の利活用の促進、土木部関係では、公共事業の必要性の県民への周知、教育庁関係では、教職員互助会への補助事業の見直し及び廃止した場合の削減効果

## 現行の長期総合計画の評価など質疑

A委員(自民) 平成十三年度に導入された政策評価は事業評価にとどまるものであり、長期総合計画の基本政策の評価との連動性が薄く評価することが難しい。事業評価のみならず、実績評価、総合評価の導入が必要と考えるがどうか。

知事 個別の事業評価だけでなく、全体的な政策としてうまく機能しているかどうかを含めて検討していく必要がある。時間的な制約もあるため、毎年、個別の重要課題をいくつかピックアップして評価していただくかどうかと考えている。

(ほかに、三位一体改革やバランスシートなども質問)

B委員(自民) つくばエクスプレス沿線のまちづくりの取り組み状況と今後の方向性について伺う。

企画部長 住民ニーズが非常に高い電線地中化によ

る美しい景観のまちづくりを進める一方、防犯や省エネ環境に配慮した住宅などを提供している。今後は首都圏との近接性を生かしながら、教育、医療、子育て環境のさらなる充実に加え、スポーツ、文化の活性化などにも取り組み、

「つくばスタイル」が実現しやすい環境を整えたい。(ほかに、地域間競争に打ち勝つ中小企業の育成なども質問)

C委員(公明) 子どもたちの安全を守るためにボランティアなどの力を積極的に活用した緊急対策について、その実現を強く要望したい。

知事 地域コミュニティなどの力を活用して子どもを守る防犯活動が県内全域で展開されることは非常に重要である。来年度のご近所の底力再生事業の重点項目として、防犯活動があ

まり行われていない地域でも、モデル的な活動団体を作ってもらうことにより、全県下に子どもたちの安全を守る自主的な地域活動が広がっていくべきでありたい。

(ほかに、ホームヘルパーの育成と能力の向上なども質問)

D委員(共産) 百里基地への在日米軍訓練の移転計画は、米軍の常駐化等、使用条件をこれまで以上に拡大することになり、日米地位協定に違反するものと思ふ。地元市町も反対または受け入れない旨表明している。知事の所見を伺う。

知事 在日米軍再編による訓練移転については、まだ、どのような中身になるのか全く聞いていない。不透明な状況のもとであるが、地元の声を最大限尊重して対応し、地元が反対と

(ほかに、PCB廃棄物処理施設計画なども質問)

E委員(民清) 県北地域は、TX開業で賑わうようになっていくような危機感を抱く。希望の持てる県北地域とするため、県総合計画の地域計画編に県北振興策をどう描いていくのか。

知事 県総合計画審議会の議論を踏まえ、県北地域の課題に対応した総合的な振興策を構築し、地域計画編に盛り込んでいきたい。県北地域の振興は、執行部とか議員とかということではなく総意を挙げて取り組まなければならない極めて

F委員(自民) 結城市内の国道四号線沿いの排水路から水が漏れ、周辺の水田が浸食されている。調査を依頼したがその対策は、土木部長 調査の結果、JR水戸線の結城市内、南北四百メートルにわたり設置された柵欄に老朽化で破損しているところがある。国土交通省宇都宮国道事務所が来

年に急的な補修を行い、抜本的な対策についても関係機関と調整のうえ検討すると聞いており、県も国に対し働きかけていく。(ほかに、公用自動車のリース化と集中管理なども質問)

果、警察本部関係では、警察官の人員配置に係る地域格差などです。また、総括質疑では、現行の長期総合計画の評価などについて、活発な質疑が行われました。

質疑者	
鶴岡 正彦	(自由民主党)
飯泉 淳	(自由民主党)
井手 義弘	(公明党)
山中 泰子	(日本共産党)
長谷川 修平	(民主清新クラブ)
新井 昇	(自由民主党)

# 自民県政クラブ



自民県政  
クラブ会長  
染谷 清

新年明けましておめでと  
うございます。

県民の皆様には、「ご一家  
おそろいにて輝かしい初春  
をお迎えのことと拝察し、  
心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は、列車事故  
やアスベスト問題、はたま  
た耐震強度偽装事件や鳥イ  
ンフルエンザ、女兒殺人事

の開業には胸が弾みまし  
た。  
また、少子化対策は何よ  
りも急務です。あらゆる方  
策を講じて将来の茨城県、  
いや、日本を担う「人」を  
確保しなければなりません。  
三位一体改革の内容はも  
ちろんのこと、新年度予算  
の政府案を見ても八十兆円  
を割り込むきわめて厳しい  
ものとなっております。地方に  
おいてはこれまで以上に  
「選択と集中」に知恵を絞  
っていかねばなりません。  
本年もどうぞ、県議会の  
活性化、そして県民の目線  
で歩む自民県政クラブにご  
期待ください。

件等、県内外において「安  
全・安心」、とりわけ危機  
管理が問われる出来事が多  
い一年であった気がいたし  
ます。  
感動的な喜ばしいニュー  
スもなかつたわけではあり  
ません。紀宮清子さまのご  
成婚は言わずもがな、県内  
においても、全国植樹祭の  
成功やつくばエクスプレス

また、安全・安心な暮ら  
しを守るための施策、警察  
官の増員、とりわけ空き交  
番の解消、自警団の普及、  
道路環境の整備促進、高度  
医療の導入等を強力に推進

# 民主清新クラブ



民主清新  
クラブ代表  
長谷川修平

新年あけましておめでと  
うございます。

皆様には、それぞれの立  
場で希望に満ちた新年を迎  
えられたものと心からお慶  
び申し上げます。

昨年は、紀宮さまのご結  
婚、愛知万博の開催、本県  
では、全国植樹祭の開催、  
百里飛行場の起工式、悲願

二十一年TXの開業など、本  
県を全国に発信する明るい  
話題がありました反面、ア

スベスト関連死が続々と  
明るみに出たり、耐震強度偽  
装問題でも大揺れし、京  
都、広島、栃木において女  
児殺害が相次ぎ、本県でも  
鳥インフルエンザの発生な  
ど暗いニュースもあり、多  
事多難の年でもありまし  
た。

さて、私たちは、人口減  
少社会を迎えるなか、本県  
の活力維持と安心・安全、  
人材の育成をめざし、県民

生活に新しい豊かさの感じ  
ることができ強い茨城づく  
りを取り組んでおりま  
す。  
しかしながら、県政をと  
りまく潮流が、少子化に伴  
う人口減少、高齢社会の急  
速な進行、安心・安全志向  
の高まりや環境問題の顕在  
化、競争の激化と交流の拡  
大、価値観の多様化などか  
ら、その対応が必要であ  
り、去る十二月八日、知事  
に対し、四百四十二項目に  
及ぶ県政要望書を提出しま  
した。

要望は、三位一体の改  
革、市町村合併の大幅な進  
展、さらに構造改革などに  
より、大きく様変わりして  
いることから、『新たな行  
政改革大綱』及び『財政

構造改革プラン』を策定  
し、徹底した行財政改革に  
取り組み、一層効率的な行  
政運営に努めることをは  
じめ、東北振興指針の策定  
や安心・安全な暮らしを送  
るため、アスベスト対策、  
新型インフルエンザ等感染  
症対策の充実、既存建築物  
の震災対策、登下校及び学  
校安全対策などを求めまし  
た。その施策の実現に全力  
で取り組んでまいります。

派一丸となって頑張りま  
す。

持続可能な社会の構築、若い  
人が結婚や出産、子育てに  
夢や希望、高齢者が健康で  
生きがいをもって暮らせる  
よう住みよい県づくりに会  
派一丸となって頑張りま  
す。

清々しい気持ちで新春を  
迎えられたでしょうか。  
昨年は、「県政を変えて  
ほしい」と、明るい民主県  
政をつくる会に、多くの願  
いが寄せられました。

そして、戦後六十年の節  
目の年、戦争をする国にし  
てはならないと、平和憲法  
を守る運動が広がりました。

百里基地への米軍機訓練  
計画をやめさせようと、立

場の違いをこえたとりくみ  
がすすんでいます。  
今年も、くらしや平和、要  
望実現のため、多くの方と  
力を合わせてまいります。  
日本共産党は昨年十一  
月、五百項目の予算要望書  
を県知事に提出しました。  
子育て支援として、就学  
前まで引き上げられた医療  
費助成の完全無料化に力を  
つくします。  
通学路の安全対策、保育

介護保険と障害者の住宅  
サービス利用は全国最低で  
す。特養ホームの増設やデ  
イサービスなどの基盤整備  
に特別な支援が必要です。  
青年の半数が派遣、パー  
トなど不安定雇用です。福  
祉、教育など公的な分野で  
の必要な人員確保は重要課  
題です。

そのために、常陸那珂  
港、百里の共用化、霞ヶ浦

# 公明党



公明党  
茨城県議会  
議員団  
議長  
足立 寛作

新年を迎え、皆様には、  
晴れやかな日々をお過ごし  
のことと存じます。

今年の干支は戌、過去を  
振り返りますと、内外に大  
きな事件が起こり、新しい  
歴史の胎動につながる節目  
となることの多かった年の  
ようです。  
本格的な人口減少時代、  
超高齢化社会を迎える中  
で、財政難、激しい地域間  
競争などが拍車をかけて、

本県を取り巻く社会経済環  
境は、極めて厳しいものが  
あります。昨年の衆院選で  
示された民意は、一層の  
「改革」推進ですが、本県  
でも、さまざまな改革断行  
は、当面の急務です。  
年度内に策定される予定  
の行財政改革大綱に基づく  
改革、減損会計導入にあわ  
せた県出資団体改革などの  
改革を強力に推進し、二十  
一世紀に輝く元気でたくま

# 日本共産党



日本共産党  
茨城県議会  
議員団  
議長  
大内久美子

清々しい気持ちで新春を  
迎えられたでしょうか。  
昨年は、「県政を変えて  
ほしい」と、明るい民主県  
政をつくる会に、多くの願  
いが寄せられました。

そして、戦後六十年の節  
目の年、戦争をする国にし  
てはならないと、平和憲法  
を守る運動が広がりました。

百里基地への米軍機訓練  
計画をやめさせようと、立

導水事業など、税金のムダ  
遣いを改めることです。  
公共事業は、築四十五年  
の友部病院や児童・婦人相  
談所の保護施設、教育施設  
の改築など、生活密着型へ  
の転換を強く求めます。  
老朽化が著しい東海第二  
原発の安全対策、プルサー  
マル計画はやめるべきで  
す。

企業を呼び込むための工  
業団地は莫大に売れ残り、  
産業政策の行き詰まりを示  
しています。  
農業、商業、林業など地  
元の資源を生かした、地産  
地消、地域再生に本格的に  
とりくむ時です。

唯一の野党として、希望  
のもてる県政に引き続きと  
りくんでまいります。

しい茨城、新しい茨城の歴  
史をつくるための、まさに  
「節目」の年にしなければ  
なりません。  
今年も、県政運営の指針  
となる新たな県総合計画の  
実施初年度に当たります。  
一方、三位一体の改革は、  
不十分ながらも地方の自由  
裁量が高まる方向で改革が  
進められております。この  
名実ともに変革期を迎え  
て、県政に求められる課題  
は、改革の着実な推進とあ  
わせ、将来にわたり県民の  
安心を確保するための道筋  
を明らかにすることです。  
私たちは昨年末、平成十  
八年度の予算編成に当た  
り、生活者の視点に立った  
総数八百三十三項目からな  
る予算要望を知事にいたし  
ました。その内容は、いば

設置し、総合的な少子化対  
策を促進すること、学校が  
家庭や地域社会、警察との  
連携を密にして、幼児・児童  
・生徒の登下校も含めた安  
全確保対策に万全を期すこ  
となどですが、いずれも県  
民の各界各層からの要望・  
意見を集約したものです。  
その一つひとつに丹念に  
取り組み、豊かで活力のあ  
る県づくりに、全魂込め  
て努力を続けてまいります。

その一つひとつに丹念に  
取り組み、豊かで活力のあ  
る県づくりに、全魂込め  
て努力を続けてまいります。

# 県出資団体等 調査特別委員会

これまで九回の委員会を開催し、出資団体や特別会計・企業会計に係る諸問題を踏まえた今後のあり方について調査を進めています。

十一月七日の第六回委員会では二人の参考人から意見聴取を行いました。

公認会計士であり税理士でもある坂本和重氏からは、問題を先送りせず、抜本的な経営改善策の実施、法的整理や清算の検討についての決断の必要性等の意見がありました。次に茨城県医師会長である原中勝征氏から、県立病院に求められる三次救急医療や循環器センター等の高度医療及び民間に比較して多い職員数や給与体系の数値目標による管理等の意見がありました。その後、審議経過を踏まえ、課題改善に向けた論点を整理しました。

十一月十八日の第七回及び十二月一日の第八回委員会では、論点に基づき、各精査団体にかかる改善方針について審議を行い、保有土地の早急かつ計画的な処分、団体の統廃合等についての県の態度の明確化などについて活発な質疑応答がありました。十二月十五日の第九回委員会では、県病院事業会計の改善方針について審議の後、委員会設置以来の審議経過報告を取りまとめ、第四回定例会最終日の十六日に、委員長から議長に報告を行いました。また同日、

## 改善方針の審議経過を報告 緊急対応を知事に申し入れ

報告を踏まえ緊急の対応が必要と考えられる事項について、議長から知事に申し入れを行いました。

【緊急に対応されたい事項】(抜粋)  
 ① 減損会計導入に伴う正確な財務内容の把握  
 ② 抜本的見直し策の決定  
 ③ 計画的な改善策の実施  
 ④ 県関与の見直し等  
 ⑤ 経営責任の明確化

「(財)グリーンふるさと振興機構」県の県北振興方策の早期確定・組織の抜本的見直し等 / 「(財)茨城県開発公社」茨城県土地開発公社」資産の時価評価の早急な確定、正確な財務内容の把握等 / 「(株)鹿島都市開発」企業として今後の事業体制の再構築等 / 「(株)ひたちなか都市開発」法人の存廃の検討又は合併の促進等 / 「茨城県住宅供給公社」保有土



橋本知事に申し入れをする石川議長

地の早期かつ計画的な処分の推進等 / 「茨城県病院事業会計」救急医療など政策

## 百里飛行場利活用 調査特別委員会

これまでに三回の委員会、現地調査及び県外調査を実施し、本県の振興・活性化に向けた百里飛行場の利活用の諸方策のあり方について、精力的に調査を進めています。また、十二月十二日には、正副委員長により、内閣総理大臣、財務大臣及び国土交通大臣あてに、

## 県の振興、活性化に向け、論点を整理

十一月二十四日から二十五日にかけて、同じく共用飛行場である石川県小松空港の状況、また能登空港や国

際航空貨物の荷さばき、保管等を行っている第三セクター北陸国際航空貨物ターミナル株式会社の取り組み状況について県外調査を行い、航空自衛隊との関係のあり方、航空貨物の取り組み状況などについて活発な質疑が行われました。

十二月十五日に開催された第三回委員会で、今後検討すべき論点の整理が行われたとともに、「百里飛行場の役割のあり方の基本的姿勢」について企画部に対し、また、「百里飛行場を生かした地域振興方策の基本的姿勢」について、企画部、商工労働部、農林水産部を始め各局に対し質疑が行われ、国際空港としての取り組み姿勢や、いばらきをPRする拠点としての空港整備、ベ

医療の実施及び医療の質の向上に向けた県立病院としての役割の明確化等

今後、さらに審議を進め、平成十八年第二回定例会において、調査結果の取りまとめを行う予定です。

【論点整理】

- 一 役割のあり方
  - ・ 成田空港、羽田空港、福島空港との関係
  - ・ 航空貨物への取り組み
  - ・ 観光・ビジネス需要への対応
- 二 地域振興方策のあり方
  - ・ 空港を生かした都市づくり
  - ・ 空港自体の活用方策
  - ・ 観光など広域的な振興方策
- 三 整備推進方策のあり方
  - ・ 経営のPROによる運営
  - ・ 利用者の利便性の確保
  - ・ 交通アクセスの充実
  - ・ CIQ(税関・出入国検疫)の確保
  - ・ ネーミングのあり方

## 福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会 太平洋から日本海に繋がる 高速交通網を基軸に活性化

十一月二十八日、高速交通ネットワークで結ばれる本県と福島・栃木・群馬・新潟五県の人・物・情報・産業・文化等の連携と交流促進について協議する初の県議会議長会が、つくば国際会議場で開催されました。

本県の石川多聞議長の呼びかけで開催されたこの会議には、五県の正副議長や議会事務局長等が出席し、初めに、国土交通省の後藤隆之地方整備課長が地域整備をめぐる国の動向や五県の発展方向等について講演し、「地元で意識されない地域資源を掘り起こした特徴あるまちづくりが重要」と述べ、五県の連携に大きな期待を寄せました。

続いて、各県の議長等が県の概要や議会活動の充実・強化へ向けた取り組みを紹介し、活発な意見交換を行いました。

今後は、毎年一回開催し五県が緊密に連携し交流を深めていくことを確認しました。



福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会の様子

## 永年在職者表彰

十二月二日に永年在職者表彰が行われました。表彰を受けた議員は、次のとおりです。

- |       |           |
|-------|-----------|
| 五十年在職 | 山口 武平 議員  |
| 三十年在職 | 川口 三郎 議員  |
|       | 長谷川 大紋 議員 |
| 十年在職  | 新井 昇 議員   |
|       | 澤田 俊光 議員  |
|       | 細本 武司 議員  |
|       | 木本 信男 議員  |
|       | 磯崎 久喜雄 議員 |
|       | 小川 一成 議員  |
|       | 半村 久美子 議員 |
|       | 大内 登 議員   |
|       | 川津 久美子 議員 |
|       | 白田 隆 議員   |
|       | 井手 義弘 議員  |



本会議場で表彰を受ける山口武平議員

## お知らせ

今回の、平成18年第1回定例県議会は、2月27日から3月23日までの25日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
2.27	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
28	火	議案調査
3.1	水	議案調査
2	木	議会運営委員会 本会議(代表質問・質疑)
3	金	議会運営委員会 本会議(代表質問・質疑)
4	土	
5	日	
6	月	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
7	火	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
8	水	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑) (議案常任委員会付託)
9	木	常任委員会
10	金	常任委員会
11	土	
12	日	
13	月	常任委員会
14	火	議事整理
15	水	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告) (予算関係議案予算決算特別委員会再付託)
16	木	予算決算特別委員会
17	金	予算決算特別委員会
18	土	
19	日	
20	月	県出資団体等調査特別委員会 (春分の日)
21	火	
22	水	百里飛行場利活用調査特別委員会
23	木	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)